※朱書き部分は記載例

様式第１号

令和８年〇月〇日

岐阜県知事　様

押印不要

住　　所　　岐阜市薮田南２－１－１
事業主体名　恵みの森づくりの会
代表者名　　代表　森野　めぐみ

代表者の肩書は規約と同じ

令和９年度清流の国ぎふ地域活動促進事業　応募申請書

下記の活動を実施したいので、清流の国ぎふ地域活動促進事業に応募します。

記

１　事業名　　恵みの森づくり推進事業

２　活動計画書　様式第２号　活動計画書

３　添付資料　　規約
構成員名簿
実施箇所の位置図及び現況写真

様式第２号

令和８年〇月〇日

清流の国ぎふ地域活動促進事業　活動計画書

本事業を初めて活用する団体は「新規」、過去に活用した実績がある団体は「継続」（活用した年度）を記載してください。

1　申請団体等概要

事　業　名	恵みの森づくり推進事業		
団　体　等　名	恵みの森づくりの会	活用状況	継続（R4-R8）
代表者氏名	代表　森野　めぐみ	構成員数	１５人
所　在　地	〒５００-８５７０　岐阜市薮田南２-１-１		
設立年月日	平成２５年４月１日（　済　・　見込　）　※いずれかに〇を付してください		
設　立　目　的	規約のとおり 団体の目的・組織・活動などの基本的なルールについて定めた定款などをもって、省略できます。		
活　動　分　野 活　動　内　容	（地域活動促進事業の活動に限らず、団体の活動について幅広く記載してください。） ・岐阜市薮田地内における里山林の整備 ・岐阜市薮田地内での木のおもちゃ体験 ・県内各地での森づくり活動の支援 ・里山整備の担い手づくり　等		
過去の具体的活動実績	・里山林整備活動　５～６回/年（令和３年～） 場所：岐阜市薮田地内、参加者数：平均２０人 ・木のおもちゃ体験　２回/年（令和４年～） 場所：岐阜市薮田地内、参加者数：平均３０人 ・間伐体験　２～３回/年（令和５年～） 場所：岐阜市薮田地内、参加者数：平均１０人 ・木育キャンプ　２回/年（令和６年８月実施） 場所：岐阜市薮田地内他、参加者数：各２０人 内容：森林の危険生物に関する学習、森林散策ツアー　等		
事務局職氏名	事務局長　森野　あすは		
事務局連絡先	住　所：〒５００-８５７０ 岐阜市薮田南２-１-１ 電　話：０５８-２７２-１１１１ 携　帯：０９０-〇〇〇〇-〇〇〇〇 ＦＡＸ：０５８-２７８-２７０２ E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp		

添付をお願いします。

※規約又は会則及び構成員名簿、団体等をＰＲできる資料を添付のこと。

※「設立目的」及び「活動分野　活動内容」の欄は、添付する規約等でその内容が把握できる場合は「規約のとおり」等と記載し、詳細の記入を省略してもよい。

※「活用状況」の欄の（　）には、本事業を活用した年数を記入する。

始期は交付決定後、
終期は３月１０日より前
※支払いまで完了すること

２　応募活動内容

実施期間	令和９年４月３０日　～　令和１０年２月１０日	
実施場所	岐阜市薮田地内	
土地所有者の同意	有・無・見込み（　　月　　日予定）	
事業分野 ※該当する事業分野に〇を付ける	〇	１　県民参画を促進する森づくり・川づくりの活動
		２　水環境や生物多様性の保全を目指す活動
	〇	３　子どもたちのための森づくり・川づくりの活動
事業の目的	（事業実施の背景及びその必要性を記入してください。）	

応募申請時は、土地所有者の同意は無くても可。
※交付申請時には、土地所有者の同意書の提出は必須

岐阜市薮田周辺では、長年放置されてきた里山林が荒れ放題となっており、不法投棄が行われるなど住民の生活環境上の問題となっている。

そのため、このあたりの里山を整備することで住民の生活環境の改善を図るとともに、整備によって得られた木材を使い、森林環境教育などを実施することで、子どもたちに整備の必要性と木材の有効活用の方法について学んでもらい、将来にわたり持続的な森林整備が行われるような意識を育むことを目的とする。

事　業　内　容	（下記の全ての項目について具体的に記入してください。）

○活動内容

活動内容について、期間や回数等を含め具体的に記載してください。

５月　　里山林整備安全講習（１回）
６月～１０月　岐阜市薮田地内での里山林整備（５回）、整備した木材を搬出（２回）
７月～１０月　搬出した木材を材料として、木のスプーンづくりを実施（４回）
７月～１０月　搬出した木材を薪として加工（３回）
８月、１１月　木のスプーンや薪材を利用しての木育イベントを実施（１日×２回）

○活動準備（団体の広報計画、参加者の募集方法、作業委託方法など）

＜団体の広報計画＞
・当団体のHPやFacebook等を活用し、活動の周知を図る。
・地域向けに通信を発行し、活動の報告と周知を行う。
＜参加者の募集方法＞
・チラシや地区内の回覧板、SNS等、複数のツールを活用する。
・チラシの配布先は、市内の小中学校やスポーツ用品店等を予定。
＜作業委託方法＞
・基本的には構成員及び参加者で里山林整備を行うが専門的な技術を必要とする危険木については委託を行う。

○活動体制（指導者の配置）
・里山林整備の前には講師を招待し安全講習を行う。
・参加者の動きを常に把握できるよう十分に構成員等を配置する。

○安全対策（事前の安全確認、ヘルメットなど安全装置の着用、保険の加入など）
・作業の際はヘルメットの着用を義務付ける。
・森林環境教育と木育イベントではスタッフに救急対応の講習を実施する。
・ボランティア保険に加入する。

保険の加入は必須

・林内に入るときは、長袖・長ズボンの着用、虫除けスプレーを使用する等、マダニやヒルなどに刺咬されないよう対策を行う。
・熱中症予防対策として、こまめな水分補給や塩分補給タブレットを摂取するとともに、1 時間ごとに小休憩を取る。

○事業目標（事業量、参加人数など）
・里山林の整備　面積 2.5ha、参加者数延べ 100 人
・木のスプーンづくり　4 回、参加者数延べ 80 人
・薪加工作業　3 回、参加者数延べ 50 人
・木育イベント　2 回、参加者数延べ 200 人

面積、参加人数等
具体的な数字を記載してください。

森林や川での活動を含まない事業については、「森づくり、川づくり」にどのように繋げるのか記載してください。

○事業効果（直接効果、波及効果）
・地域の里山林が整備され、生活環境の改善が図られる。
・里山林整備の重要性と木材の有効活用方法に対する子どもたちの理解が進む。
・活動に参加したことをきっかけに地域の里山の整備や活用に関心を持つ人が増える。

※必要に応じ別途資料を添付してください。

環境税を活用した事業であることを参加者の方や地域住民等へお知らせいただくようお願いします。

清流の国ぎふ森林・環境税の広報	（参加者等へ清流の国ぎふ森林・環境税を周知する手法について記入してください。）

・活動開始時の挨拶において、清流の国ぎふ森林・環境税の目的や使途のほか、県民一人一人のご負担により本活動が支えられていることを参加者へ説明する。
・ホームページや SNS、参加者募集の案内チラシ等に、清流の国ぎふ森林・環境税を活用した事業である旨を明記する。
・活動の様子を撮影し、ホームページや SNS に掲載することで、清流の国ぎふ森林・環境税を活用した活動として広く発信する。
・活動の際は、のぼり旗を掲示し、参加者や周辺住民への広報を行う。

事　業　効　果	（過去に当補助制度を活用した活動による事業効果について具体的に記入してください。）

【記載方法】
○継続的に活動してきたことによる事業効果を記載してください。「里山がきれいになった」等の定性的な事業効果ではなく、「継続的な活動により○ha から○ha まで活動規模が拡大した」といった定量的な事業効果を記載してください。

※以下の記載内容は望ましくありません。
- 「里山を整備したことで景観が良くなった」
  理由：定量的な事業効果の記載がない
- 「○ha の里山整備を実施した」
  理由：事業結果であり、継続的な活動による事業効果の記載がない
- 「木育体験の参加者を募ったところ、○名が参加した」
  理由：事業結果であり、継続的な活動による事業効果の記載がない

記載例）
・団体設立当初、0.5ha から始めた里山整備活動であったが、10 年間継続的に実施して得たノウハウを活かし、現在は 5ha まで規模を拡大している。また、活動を聞きつけた地元住民からは、整備してほしい旨の要望が増え、里山整備の重要性が広まりつつあると感じる。
・4 年前に実施した里山林整備活動の参加者が、現在、団体の運営に携わっている。
・主催した木育イベントに継続して参加した方が木育に興味を持ち、木育サポーターを経て、ぎふ木育指導員として指導する立場で活躍している。

当補助金制度を活用したことがある団体については、下記の項目についてもご記載ください。

新規・改善の内容	（これまでの効果や課題を踏まえて改善・拡充した点について具体的に記入してください。）

【新規取組の例】
・これまでの植樹活動に加え、令和 9 年度は地元小学生と連携した環境教育プログラムを新たに導入する。授業や課外活動の一環として、子どもたちが実際に植樹・森林整備を体験することで、森づくりへの理解と関心を育み、次世代を担う人材の育成につなげる。
・活動エリアを○○地区に加え、隣接する△△地区にも拡大し、より広域での森林保全活動を実施する。

【課題を踏まえた改善の例】
・これまでの活動では、参加者が固定される傾向があったため、令和 9 年度は地域の自治会や企業へ積極的に働きかけるとともに、SNS や地域の広報誌を活用した新規参加者の獲得を図る。
・委託に頼っていた木の伐採作業について、チェーンソー講習を受講し、資格・技術を習得したうえで、団体メンバーが中心となって実施できる体制を整え、自力での活動範囲を拡大する。

収　支　予　算　（区分、費目ごとに金額を記入してください。）

（収入）

費　目	事業経費（円）	内訳
県補助金	852,500	清流の国ぎふ地域活動促進事業補助金
自己財源	409,284	
その他の財源	140,000	木育イベント参加料 2,000 円×70 人
合計	1,401,784	

（支出）

区分	費　目	事業経費（円）	うち補助対象経費（円）	内訳（単価×数量）
人的経費	賃　金	40,000	33,320	木材搬出作業者 10,000 円/日×2 人×2 日 （1 日あたり上限額 8,330 円）
	報償費	60,000	56,000	里山林整備安全講習講師 12,000 円/日×1 人×1 日 （1 日あたり上限額 11,200 円） スプーンづくり講師 12,000 円/日×1 人×4 日 （1 日あたり上限額 11,200 円）
	旅　費	21,680	10,680	里山林整備安全講習講師 2,500 円/日×1 人×1 日 （25 円×100 ㎞） スプーンづくり講師 2,045 円/日×1 人×4 日 （公共交通〇駅から〇駅） 構成員旅費 11,000 円（補助対象外）
	小　計	121,680	100,000	
その他の活動経費	需用費	300,000	200,000	鉈、鋸、紙やすり、ガソリン、チラシ印刷費、食料品など（補助対象外） ※別紙のとおり
	役務費	45,200	45,200	案内状発送代、イベント保険 ※別紙のとおり
	委託料	700,000	700,000　（調整前） 635,000　（調整後）	←危険木除去委託　700,000 円 ←補助対象経費（調整前）の総額 50％の額である 635,000 円が委託料の上限額
	使用料及び賃借料	100,000	100,000	搬出用軽ダンプ一台 5,000 円/日×20 日分
	原材料費	24,800	24,800	スプーンづくり塗料セット 24,800 円
	備品購入費	110,104	100,000	チェーンソー購入費 55,052 円×2 （1 物品あたりの上限額 50,000 円）
	小　計	1,280,104	1,170,000（調整前） 1,105,000（調整後）	
	合　計	1,401,784	1,270,000（調整前） 1,205,000（調整後）	

単価×〇人×〇日

（賃金・報償費）
１日あたりの活動時間・人数・日にちを記載。

自家用車の旅費単価が25 円に変更となります

委託料については、調整前の金額と調整後の金額を記載してください。

※「内訳」の欄は、必要に応じ別表（単価×数量）を添付すること。
※委託料を計上しない場合、「小計欄」及び「合計欄」は、（調整後）の欄にご記入ください。

委託料が補助対象経費（調整前）の 50%を超える場合、調整後の金額を記載してください。

総　事　業　費 （うち、補助対象経費）	1,401,784 円　（うち、補助対象経費 1,205,000 円）			
補　助　金　額	852,500 円 ・　補助対象経費の合計額が５００千円以下の場合 補助金額＝補助対象経費の合計額 ・　補助対象経費の合計額が５００千円を超える場合 補助金額＝５００千円＋（補助対象経費の合計額―５００千円）÷２ ・　委託料については、補助対象経費（調整前）の総額の５０％以下の額を上限とする。 ・　補助金の上限額は、２，０００千円と総事業費から参加費その他の収入額を控除した額を比較して少ない方の額			
他への助成申請	1	あり（応募先名：　　）	2	なし
次年度以降の事業計画	（下記の全ての項目について具体的に記入してください。）			

〇次年度以降における事業計画、財源計画、事業拡充の見通しについて

来年度以降も地域の生活環境が維持できるよう、引き続き住民が主体となって里山の整備を行う。また、子どもたちへの森林環境教育などについても、プログラムの内容をブラッシュアップしながら、里山整備の重要性を伝えていく。財源計画については、本事業を活用するほか、下記記述のとおり財源の確保手段を検討し活動を継続させていきたい。

〇補助制度終了後の活動の継続性について（補助制度が終了した場合の財源計画について）

補助制度が終了すると実施できることは限られてくるが、イベント参加料の増額や中部地域づくり協会の助成制度等の活用を検討し、これまでの活動における経験・ノウハウを活かし、可能な限り活動を継続させたい。

活動ＰＲ	（団体ならではの活動など、本事業を実施する上でのＰＲポイントを１００字程度で記入してください。）

令和〇年に〇〇新聞に活動が掲載されるなど、長年にわたる森づくり活動が高く評価されている。また、〇〇企業と協定を締結し、これまでに延べ〇〇人の方に参加いただき、地域に根差した活動として広く認知されている。（101 字）

活動のＰＲポイントを記載してください。

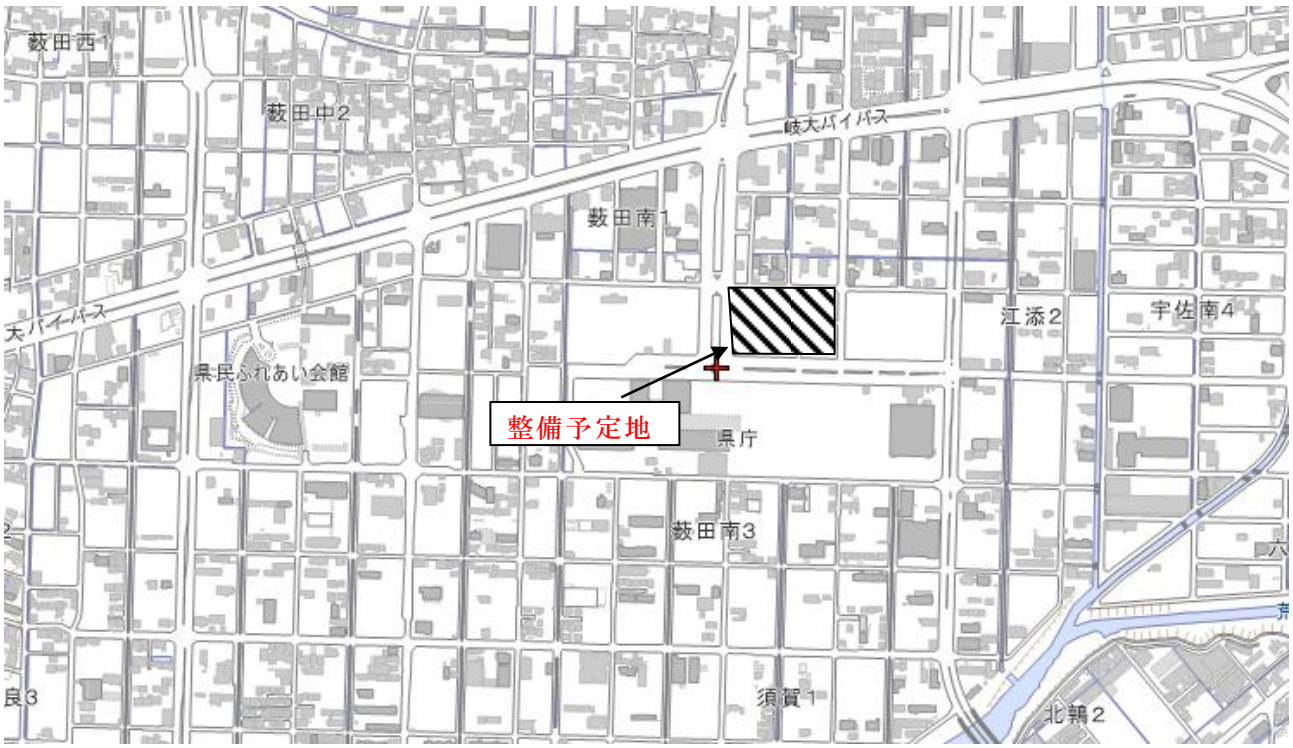
添付資料（応募時と交付申請時で提出するものが同一の場合は交付申請時には添付の省略可）

□事業地位置図及び現況写真

・事業実施場所の位置を明らかにした縮尺５万分の１以上の地形図

・事業実施場所の状況を明らかにした縮尺 5,000 分の１以上の概況図及びカラー写真

事業の実施場所の位置図と、現況写真について添付をお願いします。


薮田西1
薮田中2
岐大バイパス
薮田南1
江添2
宇佐南4
県民ふれあい会館
整備予定地
県庁
薮田南3
須賀1
北新2



整備予定地の状況